

自然光育成装置利用手引き

本装置の概要

自然光下で植物、作物の栽培を行います。夏期に空調することはありません。また、冬期に加温することもない装置です。8号鉢(直径24cm)を300個以上栽培可能です。ただし、種子、苗などを預かり、肥培管理を直接行うことはできません。あくまで、東北大学大学院生命科学研究科の教官と共同研究を締結頂き、水、肥料、農薬などの管理を利用者が行えるということが利用に当たっての最低限の条件となります。

利用する上での注意点

上記の通り、東北大学大学院生命科学研究科の教官と共同研究を締結頂き、水、肥料、農薬などの管理を行えるということが利用に当たっての最低限の条件となります。この条件をクリア頂き、栽培する個体数などの事前打ち合わせを行います。栽培面積に制限があるので、大規模スクリーニングには対応できません。明確な目的がない種子、苗などの栽培は、お断りする場合があります。自然光での植物育成装置ですので、加温、空調を変えることなく、その年の仙台の気温に従い、栽培します。

栽培時期、植物・作物種によっては、栽培をお断りする場合があります。念のため、ご了解ください。栽培を依頼された共同研究先の教官が適切な肥培管理ができてない場合、他の植物・作物への影響もありますので、実験の中止をお願いすることがあります。

利用の流れ

- ① 事前打合せ（東北大学大学院生命科学研究科の教官との共同研究が締結し、肥培管理が約束されていることを確認します。栽培する個体数、面積、時期などを調整し、問題がないことを確認します。）
- ② 研究支援の開始
- ③ 種子、苗などの送付
- ④ 栽培、肥培管理の開始
- ⑤ 栽培状況の報告、採種などは、共同研究先の教官からやって頂きます。

費用負担

施設の利用に関する費用の負担はありません。植物の育成に係わる物品は、個別共同研究先と相談して用意して下さい。

Authorship

1 種子、苗などを預かり、肥培管理をするためには、東北大学大学院生命科学研究科の教官と共同研究を頂く必要があります。事前に支援担当者にご相談ください。

1 また、本プログラムを利用して生じた研究成果等を公表する際は、拠点代表者と共同研究に関わった方々を共著者としてください。

連絡先

東北大学大学院生命科学研究科

渡辺正夫：nabe@ige.tohoku.ac.jp_